



Cisco NX-OS Release 5.0(3)A1(1) 用 Cisco Nexus 3548 スイッチ検証 済みスケーラビリティ ガイド

[検証済みスケーラビリティ 2](#)

[NX-OS Release 5.0\(3\)A1\(1\) 用 Cisco Nexus 3548 スイッチ検証済みスケーラビリティ 2](#)

検証済みスケーラビリティ

NX-OS Release 5.0(3)A1(1) 用 Cisco Nexus 3548 スイッチ検証済みスケーラビリティ

次の表では、レイヤ 2 およびレイヤ 3 機能設定が含まれているトポロジでシスコが確認した制限値について説明します。



(注) スケール要件が、検証されたトポロジまたは検証された最大制限値を超える場合は、シスコ代理店にお問い合わせください。ハードウェアのスケール機能を超えていない限り、要件に応じてサポートを検証できる可能性があります。

表 1 : Cisco NX-OS Release 5.0(3)A1(1) レイヤ 2 およびレイヤ 3 トポロジの設定の制限値

機能	検証されたトポロジ ¹	検証された最大値 ²
スイッチあたりのアクティブ VLAN 数	512 ³	512 ⁴
MTU	9,216	9,216
STP 論理インターフェイス	2,500 台	9,000
MST インスタンス	63	64
MAC テーブル サイズ	8,192	65,532
ポート チャネル	8	24
ポート チャネルごとのメンバポートの数	16	24
システム ロギングの宛先ポートの数	0	8
SPAN セッション	4 つのアクティブ セッション ⁵	4 つのアクティブな双方向セッション ⁶ 1 セッションにつき 1 つの宛先ポート

機能	検証されたトポロジ ¹	検証された最大値 ²
レイヤ 3 物理インターフェイス	10	48
レイヤ 3 SVI、サブインターフェイス、EtherChannel	256	1,024
VRF	10	200
IPv4 ホスト	4,096	65,536
IPv4 ルート (LPM)	8192 (通常のトラフィック転送モード) 4096 (ワープモード)	16,384 (通常のトラフィック転送モード) 4096 (ワープモード)
マルチキャスト ルート	7,990	8,192
IGMP スヌーピング グループ	3,000	8,000
ECMP ⁷	双方向	32 方向
ACL の TCAM エントリ	入力 384 (通常のトラフィック転送モード) 入力 128 (ワープモード)	入力 3,000、出力 1,000
HSRP	256	500
VRRP	250 ⁸	250 ⁹
設定可能な QoS グループ	4	4
BGP ネイバー	85	85
OSPF ネイバー	150 (単一エリア、エリア 0)	150 (単一エリア、エリア 0)
PIM ネイバー	250	250
NAT 変換	250	1023

¹ 検証されたトポロジ：一覧表示されたすべての機能を同時にイネーブルにした場合に、検証されたスケーリング機能を示します。ここに示した数値は、ほとんどの顧客のトポロジで使用される数値を上回っています。ここに示したスケール数値は、各機能を単独で見た場合の検証済みの最大値ではありません。

- 2 対応する機能に対して個別にテストされた最大スケール機能を示しています。この数値は、対応する機能に対して Cisco NX-OS Release 5.0(3)A1 ソフトウェアが現在サポートしている絶対最大値です。ハードウェアがより大きなスケーリングに対応している場合、今後のソフトウェアリリースでは、この検証された最大制限値が増大する可能性があります。
- 3 PVRST モードでは 507 個の VLAN。RPVST モードでは 512 個の VLAN（ユーザ定義 VLAN が 507 個の場合）、MST モードでは 512 個の VLAN。
- 4 PVRST モードでは 507 個の VLAN。RPVST モードでは 512 個の VLAN（ユーザ定義 VLAN が 507 個の場合）、MST モードでは 4,000 個の VLAN。
- 5 異なる宛先を持つ 2 つの SPAN セッションで片方向の同じ SPAN 送信元を許可。
- 6 SPAN セッションの方向に関係なく、4 つのアクティブな SPAN セッション。
- 7 通常のトラフィック転送モードでのみサポートされています。
- 8 HSRP グループと VRRP グループの組み合わせ。合計は 250。
- 9 HSRP グループと VRRP グループの組み合わせ。合計は 250。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>